

コマツナで使用できる主な農薬（2018.3.1現在）

中央農業改良普及センター東部分室

【殺虫剤】

薬剤名	薬剤系統区分	作用機構分類コード	有効成分	適用病害虫	使用時期	使用回数	コマツナの ナバナ的 利用※
エスマルクDF水和剤☆	BT(バチルス チューリンゲンシ ス産生毒素)	11A	バチルスチューリン ゲンシス産生毒素	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、オオタバコガ	1	—	○
カスケード乳剤★	IGR(昆虫成長 制御剤)	15	フルフェノクスロン	コナガ、アオムシ、マメハモグリバエ	7	2	○
マッチ乳剤★		15	ルフエヌロン	アオムシ、コナガ	3	3	×
アグロスリン乳剤★	合成ピレスロイド	3A	シペルメトリン	アブラムシ類	1	2	×
フォース粒剤★		3A	テフルトリン	ネキリムシ類、キスジノミハムシ	は種時	1	○
アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド	4A	チアメトキサム	アブラムシ類	3	2	×
アクタラ粒剤5		4A			は種時	1	×
アルバリン顆粒水溶剤★		4A	ジノテフラン	アブラムシ類、キスジノミハムシ	3	2	○
スタークル顆粒水溶剤★					は種時	1	○
アルバリン粒剤★		4A	イミダクロプリド	アブラムシ類	は種時	1	○
スタークル粒剤★					は種時	1	○
アドマイヤー1粒剤★		4A		アブラムシ類、コナジラミ類	14	2	×
アドマイヤーフロアブル★		4A		アブラムシ類、キスジノミハムシ、カブラハバチ	7	1	○
モスピラン顆粒水溶剤★		4A	アセタミプリド	アブラムシ類、キスジノミハムシ、カブラハバチ	7	1	○
モスピラン水溶剤★		4A		コナガ、アブラムシ類	は種時	1	×
モスピラン粒剤★		4A		アブラムシ類	は種時	1	×
ダントツ粒剤		4A	クロチアニジン	アブラムシ類	3	3	×
ダントツ水溶剤	4A						
アクテリック乳剤	有機リン	1B	ピリミホスメチル	アブラムシ類	7	1	×
オルトラン水和剤★		1B	アセフェート	アブラムシ類	21	1	×
ジェイエース粒剤		1B	アセフェート	アブラムシ類	は種前	1	×
ダイアジノン粒剤5		1B	ダイアジノン	ケラ、ネキリムシ類、キスジノミハムシ	は種時 出芽時 定植時	1	○
スピノエース顆粒水和剤☆	スピノシン	5	スピノサド	アオムシ、コナガ、アザミウマ類、ハモグリバエ 類、ヨトウムシ類、ハイマダラノメイガ	14	2	×
ディアナSC		5	スピネトラム	コナガ、アザミウマ類、ハスモンヨトウ、アオムシ	1	2	○
エコピタ液剤☆	天然物由来	—	還元澱粉糖化物	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、 うどんこ病	1	—	○
サンクリスタル乳剤☆		—	脂肪酸グリセリド	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、 うどんこ病	1	—	○
アフーム乳剤	マクロライド	6	エマメクチン安息香 酸塩	コナガ	3	2	○
アニキ乳剤★		6	レピメクチン	コナガ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ、 ハモグリバエ類	1	3	×
プレバゾンフロアブル5★	ジアミド	28	クロラントラニプロール	コナガ	1	2	×
フェニックス顆粒水和剤★		28	フルベンジアミド	コナガ	1	2	○
コテツフロアブル	その他	13	クロルフェナピル	コナガ、アオムシ、ハクサイダニ	3	1	×
アクセルフロアブル★		22B	メタフルミゾン	コナガ、ハスモンヨトウ、キスジノミハムシ	1	3	×
ウララDF★		29	フロニカミド	アブラムシ類	1	2	×
スラゴ☆		UN	燐酸第二鉄	ナメクジ類、カタツムリ類、ヒメシロマイマイ、 アフリカマイマイ	発生時	—	○
プレオフロアブル		UN	ピリダリル	コナガ、ハスモンヨトウ	1	2	×

使用時期の数字は、収穫前の日数を示す。1とは収穫前日までを意味する。

※コマツナのナバナの利用は、「**なばな類**」での使用時期・使用回数も確認すること。「**なばな**」のみの登録農薬は使用不可
☆野菜類での登録、★非結球アブラナ科葉菜類での登録

コマツナで使用できる主な農薬 (2018.3.1現在)

中央農業改良普及センター東部分室

【殺菌剤】

薬剤名	薬剤系統区分	作用機構分類コード	有効成分	適用病害虫	使用時期	使用回数	コマツナのナバナ的利用※
Zボルドー水和剤☆	銅	M1	塩基性硫酸銅	べと病、黒腐病、軟腐病、褐斑細菌病、斑点細菌病、黒斑細菌病	—	—	○
ヨネポン水和剤★	銅	M1	ノニルフェノールスルホン酸銅塩	白さび病、軟腐病	14	4	○
ジーファイン水和剤☆	無機・銅	NC・M1	炭酸水素ナトリウム	白さび病、うどんこ病、軟腐病	1	—	○
ベンレート水和剤★	ベンゾイミダゾール	1	ベンミル	炭そ病、白斑病	21	1	×
リドミル粒剤2 (この商品は生産終了) (代替剤: ユニフォーム粒剤)	酸アミド	4	メタラキシル	白さび病	は種前	1	×
アミスター20フロアブル	ストロビルリン	11	アズキシストロビン	白さび病	7	2	×
スクレアフロアブル★	ストロビルリン	11	マンデastroロビン	炭そ病	1	3	×
ユニフォーム粒剤	酸アミド・ストロビルリン	11・4	メタラキシルM・アズキシストロビン	白さび病	は種時	1	×
フロンサイド粉剤	その他	29	フルアジナム	根こぶ病、立枯病(リゾクトニア菌)	は種前 (ただし収穫21日前)	1	○
オラクル粉剤★		21	アミスルプロム	根こぶ病	は種前 又は定植前	2	○
オラクル顆粒水和剤★		21		根こぶ病	は種前	1	○
ライメイフロアブル★		21		白さび病	3	3	×
ランマンフロアブル★		21	シアゾファミド	白さび病	3	3	○
ネビジン粉剤★		36	フルスルファミド	根こぶ病	は種前 又は定植前	1	○
ネビリュウ粉粒剤★	36	根こぶ病		は種前	1	○	

使用時期の数字は、収穫前の日数を示す。1とは収穫前日までを意味する。

※コマツナのナバナ的利用は、「なばな類」での使用時期・使用回数も確認すること。「なばな」のみの登録農薬は使用不可

☆野菜類での登録、★非結球アブラナ科葉菜類での登録